

# どろんこだいすき

令和6年10月1日  
千代田区立昌平幼稚園  
園長 浅岡 寿郎

『昌平キッズ』ビオトープだより NO. 226

猛暑の夏が終わり、園庭でも少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。

今月のビオトープだよりでは、収穫間近の稲の様子や、秋の始まりを感じさせる園庭の様子についてお知らせします。



みんなで育てた稲、ついに収穫！



夏休み期間中でぐんぐん育った田んぼの稲。今年は、近年稀に見る大豊作です！9月の月上旬頃には、色付いてきた稲穂の穂先が徐々に垂れ始め、しっかりとお米が実ってきていました。2学期が始まり久しぶりに園庭に出た子どもたちは、「こんなに大きくなって！」「お米ができてるの？」と大喜びしていました。



稲刈り前日には雨が降り、当日は曇り空で雨が心配でしたが、無事に収穫の日を迎えることができました。園庭の田んぼの稲刈りをするのは5歳児きりん組です。実際に鎌を使って稲を刈りました。初めは保育者に手を添えられて行っていましたが、次第にコツを掴んでいき、自分でサクッと切ることができると嬉しそうにしていました。自分で刈った稲は麻紐や藁で束ね、稲架掛けして乾燥させています。



3歳児ひよこ組・4歳児うさぎ組も、バケツで育てた稲を収穫しました。ひよこ組は、保育者が収穫する様子を見たり、きりん組のお兄さん・お姉さんや保育者から、稲架掛けのやり方を見せてもらったりしました。初めてのことに興味津々の子どもたちでした。うさぎ組は、はさみで稲を切って収穫しました。自分たちが育てた稲の束を見て、たくさん収穫できたことを喜んでいました。

田んぼの土起こしや田植えを経て、みんなで大切に育ててきた稲。今後は乾燥させ、脱穀や粳摺り、精米を経て収穫祭の日に食べる予定です。



## ドングリをたくさん拾って遊んでいます！

今年はドングリも豊作です。園庭の西側にあるどんぐり山付近では、毎日のようにドングリ拾いを楽しむことができます。拾ったドングリを保育室に置いておくと、ままごとのごちそうとして使ったりドングリを転がすコースを作ったりして、様々に遊んでいます。今後も、秋の自然に触れて遊ぶことを大切にしていきたいと思います。



ドングリたくさん拾ったよ



コロコロ転がしてドングリアート



ドングリ転がし

## 木の実も実ってきています！

どんぐり山近くの柿の木には、緑色の柿がいくつも実ってきています。カリンや柚子の木にも緑の果実が実り、子どもたちは色付いていくのを楽しみにしています。

まだ青いままの実がいくつか落ちていることがあり、子どもたちは「これなんだろう？」と興味深そうに見ていました。保育者が「どの木から落ちてきたのかな？」と木を見上げると、子どもも見上げて「形が似てるから、あの木から落ちたのかも！」と、探したり見付けたりすることを楽しんでいます。

秋の始まりを感じさせる園庭は、これからの時期ますます美しく変化していきそうです。



柚子の木



カリンの木



柿の木

## ビオトープクイズ

ツリーハウスの前にある葉っぱです。  
この植物は何という名前でしょうか。  
ヒント：とても爽やかな匂いがします♪

1. ペパーミント
2. オシロイバナ
3. シロツメクサ

10月8日(火)の登園時までに、  
解答用紙をビオトープクイズ応募  
箱に入れてください。

